

氏名	山本 満寿美		
授与した学位	博士		
専攻分野の名称	保健学		
学位授与番号	博甲第3945号		
学位授与の日付	平成21年3月25日		
学位授与の要件	保健学研究科保健学専攻 (学位規則第4条第1項該当)		
学位論文の題目	メタロ-β-ラクタマーゼ産生緑膿菌のバイオフィルム形成能および分子疫学的検討		
論文審査委員	主査	齋藤 信也	
	副査	小田 慈	猪下 光

論文審査結果の要旨

保存菌株を用い、メタロ-β-ラクタマーゼ (MBL) 産生緑膿菌の多剤耐性能、バイオフィルム形成能、並びにそれぞれの菌株の近縁関係を検討した研究である。当該学生自らすべてのアッセイを行ったとのことで、その労力には敬意を表する。検体の大半を占める尿から検出されたMBL産生緑膿菌は多剤耐性であり、バイオフィルム形成能が高いという結果が得られた。しかし残念ながら、考察部分では結果に基づいた議論の展開がまったくなされておらず、一般的な感染制御の話に終始しており、この研究からの感染看護という臨床領域へのimplicationが不明であった。例えば検体としての尿は、尿路感染を発症した患者ものなのか、あるいは単にカテーテル交換時のそれなのか？臨床として一番興味のあるデータを得ないまま考察を行っても説得力は弱い。また施設間での耐性菌の検出状況の差についても、データに基づくことなく、一般論としてICT活動の活発さの違いに求めるのではなく、各施設の抗菌剤の使用状況等を踏まえて、ディスカッションを行うべきであると思われる。ただし、看護領域で自ら細菌学的手法を用いて研究を行う人材は非常に少ないと考えられ、当該学生は貴重な看護研究者ともいえる。今後の研究の更なる発展に期待したい。